

表 8 回答者が担当する事業場の主な業種 (%)

事業場の主たる業種	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
建設業	2.0	2.1	1.4	4.7	2.6
食品製造業	4.1	6.4	2.9	10.9	6.1
繊維工業	2.0	2.1	5.8	1.6	3.0
木製品・紙製造業	0.0	4.3	0.0	0.0	0.9
化学工業	12.2	6.4	4.3	9.4	7.8
ゴム製造業	0.0	0.0	1.4	0.0	0.4
窯業	2.0	0.0	0.0	3.1	1.3
金属製造業	10.2	6.4	11.6	10.9	10.0
一般機械製造業	0.0	2.1	7.2	0.0	2.6
電機製造業	30.6	14.9	13.0	12.5	16.9
輸送機械製造業	8.2	8.5	8.7	1.6	6.5
精密機械製造業	4.1	6.4	4.3	3.1	4.3
その他の製造業	4.1	8.5	4.3	6.3	5.6
卸売・小売業	2.0	0.0	4.3	1.6	2.2
金融保険業	2.0	0.0	2.9	3.1	2.2
運輸業	0.0	4.3	5.8	3.1	3.5
通信業	4.1	0.0	1.4	7.8	3.5
電気ガス水道業	8.2	0.0	5.8	3.1	4.3
鉱業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療業	0.0	2.1	2.9	0.0	1.3
人材派遣業	0.0	2.1	1.4	0.0	0.9
サービス業	0.0	8.5	2.9	4.7	4.3
公務	0.0	4.3	5.8	7.8	4.8
その他	4.1	10.6	1.4	4.7	4.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

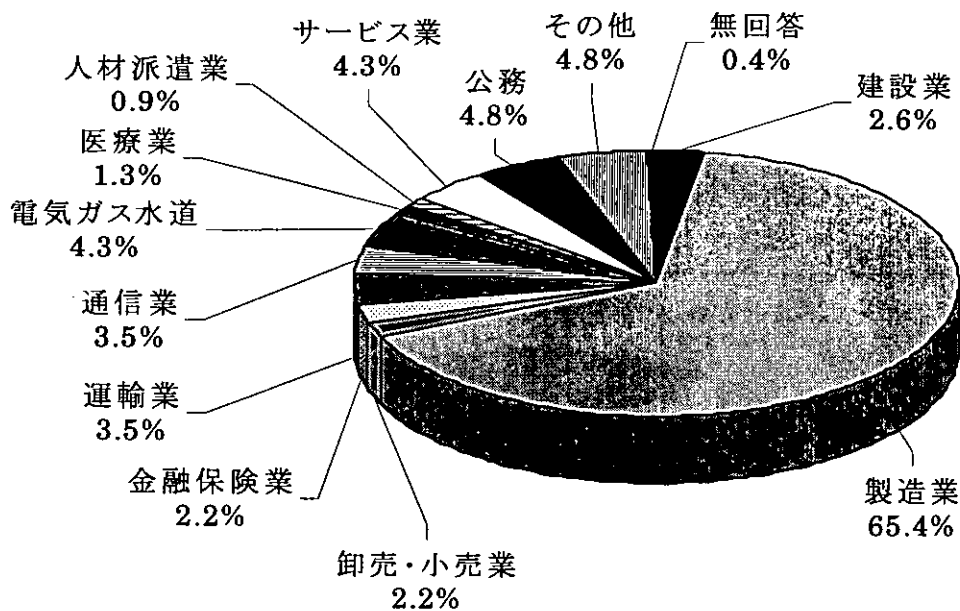


図 4 回答者が担当する事業場の主な業種

5) 事業場の労働者数

事業場の労働者数は、回答全体で500人未満と以上がほぼ半数ずつであった。「専門専属」と「非専門専属」では労働者数が1000人以上の事業場がそれぞれ約8割と約3割であった。事業場の平均労働者数は、「専門専属」で最も多く、「非専門非専属」で最も少なかった。

表9 回答者が担当する事業場の労働者数

事業場の労働者数規模	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
100人未満	2	7	17	19	45
100人以上	4	21	18	24	68 #
500人以上	4	11	9	14	38
1000人以上	27	4	17	5	53
3000人以上	12	4	6		22
無回答			2	2	5 #
合計	49	47	69	64	231 #

表10 回答者が担当する事業場の労働者数 (%)

事業場の労働者数規模	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
100人未満	4.1	14.9	24.6	29.7	19.5
100人以上	8.2	44.7	26.1	37.5	29.4
500人以上	8.2	23.4	13.0	21.9	16.5
1000人以上	55.1	8.5	24.6	7.8	22.9
3000人以上	24.5	8.5	8.7	0.0	9.5
無回答	0.0	0.0	2.9	3.1	2.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表11 回答者が担当する事業場の労働者数

事業場の労働者数規模	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
平均 (人)	2196	839	1162	378	1100
標準偏差 (人)	2959	1655	2593	447	2208
最大値 (人)	20000	10000	20000	2236	20000
最小値 (人)	70	42	40	1	1
中央値 (人)	1500	300	300	180	490

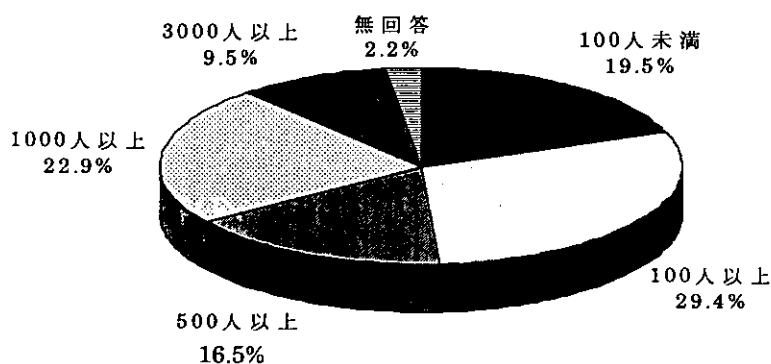


図5 回答者が担当する事業場の労働者数

6) 企業の労働者数

企業の労働者数は、回答全体で 1000 人以上が過半数となった。労働者数が 1000 人以上の企業は、「専門専属」と「専門非専属」では過半数であったが、「非専門専属」と「非専門非専属」では半数未満であった。企業の労働者数の分布は、「専門専属」>「専門非専属」>「非専門専属」>「非専門非専属」であった。

表 12 回答者が担当する企業の労働者数

企業の労働者数	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
1,000人以上	44	28	31	27	130
500人以上	3	7	7	9	26
100人以上		10	18	16	45 #
50人以上	1	2	11	8	22
50人未満			2	2	4
無回答	1			2	4 #
合計	49	47	69	64	231 #

表 13 回答者が担当する企業の労働者数 (%)

企業の労働者数	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
1,000人以上	89.8	59.6	44.9	42.2	56.3
500人以上	6.1	14.9	10.1	14.1	11.3
100人以上	0.0	21.3	26.1	25.0	19.5
50人以上	2.0	4.3	15.9	12.5	9.5
50人未満	0.0	0.0	2.9	3.1	1.7
無回答	2.0	0.0	0.0	3.1	1.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

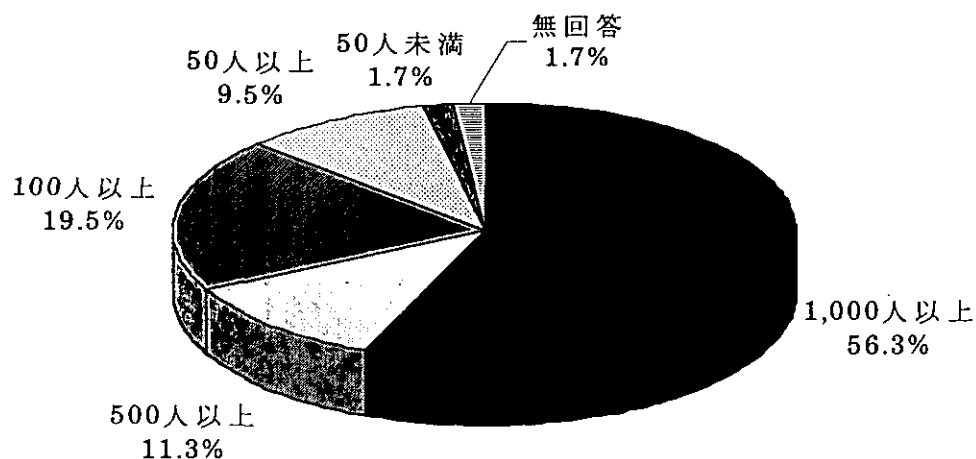


図 6 回答者が担当する企業の労働者数

7) 一般職の労働時間の把握

一般職の労働時間は、約9割の事業場で把握されていた。「専門専属」と「専門非専属」で把握していないところは2事業場以下であったが、「非専門専属」と「非専門非専属」では、把握していないところが約5%であった。

表 14 一般職の労働時間の把握状況

一般職の労働時間の把握	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
把握している	47	44	60	56	207
把握していない	2	1	4	3	10
わからない		2	5	4	12 #
無回答				1	2 #
合 計	49	47	69	64	231 #

表 15 一般職の労働時間の把握状況 (%)

一般職の労働時間の把握	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
把握している	95.9	93.6	87.0	87.5	89.6
把握していない	4.1	2.1	5.8	4.7	4.3
わからない	0.0	4.3	7.2	6.3	5.2
無回答	0.0	0.0	0.0	1.6	0.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

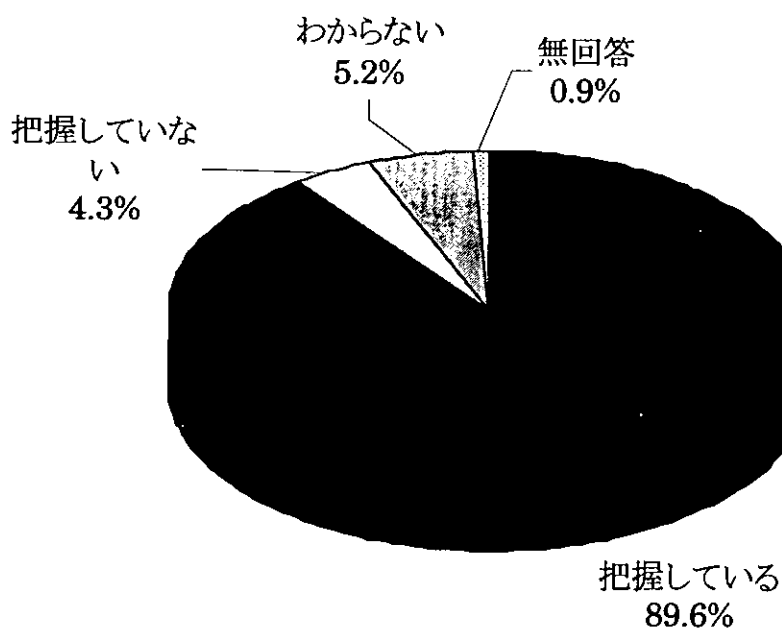


図 7 一般職の労働時間の把握状況

8) 管理職の労働時間の把握

管理職の労働時間は、5割強の事業場で把握されており、残りは把握していないとわからないが概ね半数ずつであった。「専門専属」ではわからないという回答の割合が少なかった。

把握している方法は、本人による申告やタイムカードによるところが4割を超え、上司による報告や健康診断等における調査などその他の方法はそれぞれ2割未満であった。「専門専属」では本人に申告させているところが過半数に達し、「専門非専属」、「非専門専属」、「非専門非専属」ではタイムカードを利用しているところが最も多い理由であった。

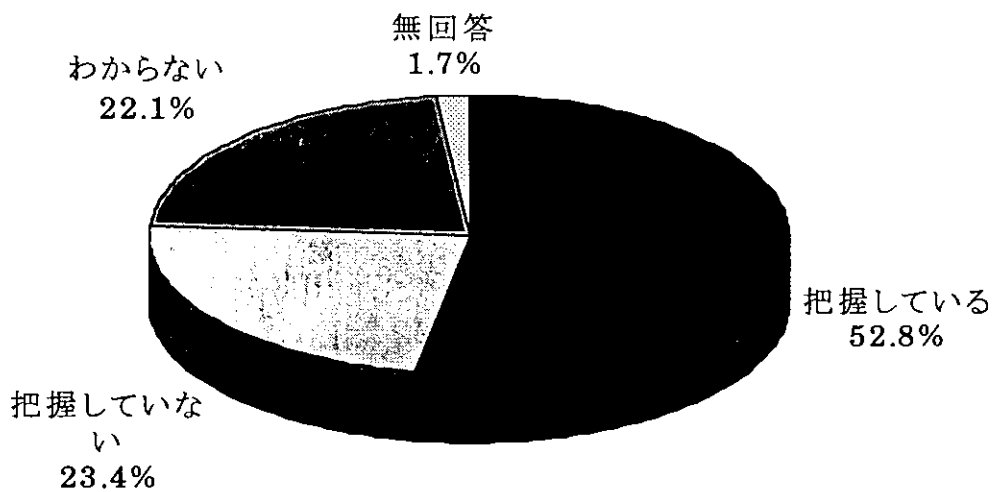


図8 管理職の労働時間の把握状況

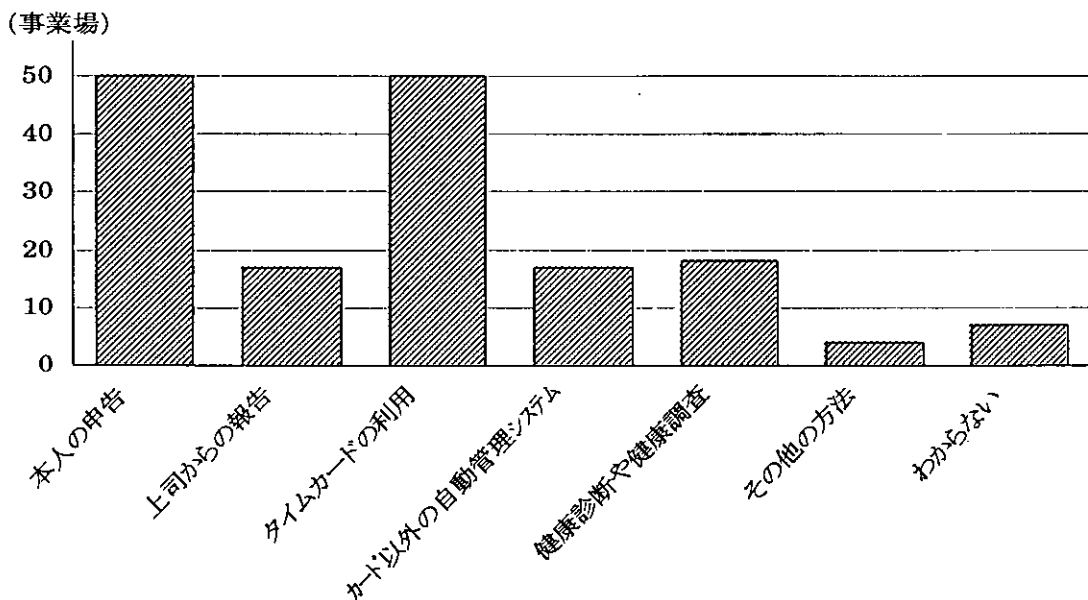


図9 管理職の労働時間の把握の方法

表 16 管理職の労働時間の把握状況

管理職の労働時間の把握	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
把握している*	29	24	36	33	122
把握していない	16	10	13	15	54
わからない	3	13	19	15	51 #
無回答	1		1	1	4 #
合 計	49	47	69	64	231 #
*把握している方法					
本人に申告させている	16	7	15	12	50
上司に報告させている	4	4	4	5	17
タイムカードを利用している	5	11	16	18	50
タイムカード以外の自動管理システムを利用している	7	2	2	6	17
健康診断や健康調査において把握している	5	2	4	7	18
その他の方法で把握している	4				4
わからない	1	2	4		7
把握している者の合計	29	24	36	33	122

表 17 管理職の労働時間の把握状況 (%)

管理職の労働時間の把握	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
把握している*	59.2	51.1	52.2	51.6	52.8
把握していない	32.7	21.3	18.8	23.4	23.4
わからない	6.1	27.7	27.5	23.4	22.1
無回答	2.0	0.0	1.4	1.6	1.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
*把握している方法					
本人に申告させている	55.2	29.2	41.7	36.4	41.0
上司に報告させている	13.8	16.7	11.1	15.2	13.9
タイムカードを利用している	17.2	45.8	44.4	54.5	41.0
タイムカード以外の自動管理システムを利用している	24.1	8.3	5.6	18.2	13.9
健康診断や健康調査において把握している	17.2	8.3	11.1	21.2	14.8
その他の方法で把握している	13.8	0.0	0.0	0.0	3.3
わからない	3.4	8.3	11.1	0.0	5.7
把握している者の合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

9) 裁量労働制労働者の労働時間の把握

裁量労働制労働者は、約3割の事業場で存在するとされ、その中の半数強で労働時間が把握されていた。裁量労働者がいるかどうか分からないという回答は「専門専属」では全くなかったが、「非専門非専属」では約3割を占めた。裁量労働者がいることがわかっていると回答した79事業場の中だけでみると、労働時間が把握されていた割合は、「専門専属」で約7割、「専門非専属」で約5割、「非専門専属」で約3割であった。

把握方法は、本人の申告によるところが5割を超え、タイムカードを利用してるところが2割強、上司の報告や健康診断での調査などその他の方法は2から6事業場であった。

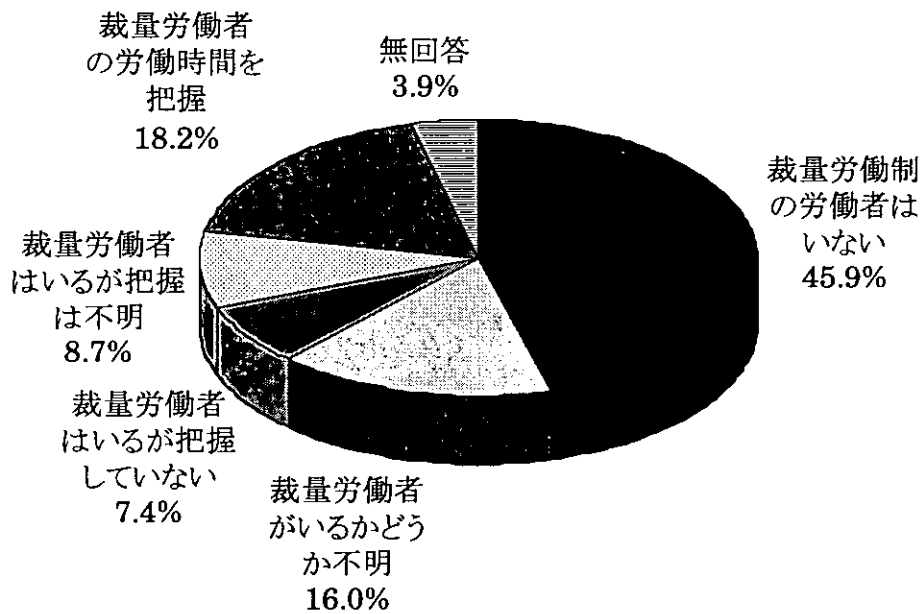


図10 裁量労働制労働者の労働時間の把握状況

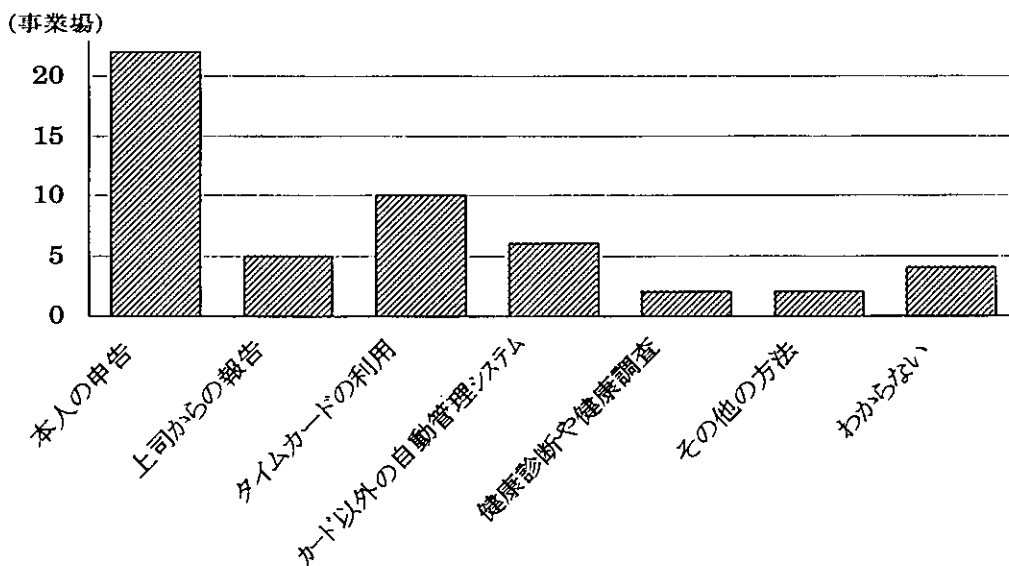


図11 裁量労働職の労働時間の把握の方法

表 18 裁量労働制労働者の労働時間の把握状況

裁量労働者の労働時間の把握	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
裁量労働制の労働者はいない	28	23	26	29	106
裁量労働者がいるかどうか不明		8	11	18	37
裁量労働者はいるが把握していない	2	4	8	2	17 #
裁量労働者はいるが把握は不明	4	3	9	4	20
裁量労働者の労働時間を把握*	14	8	10	10	42
無回答	1	1	5	1	9 #
合 計	49	47	69	64	231 #
*把握している方法					
本人に申告させている	11	2	7	2	22
上司に報告させている	1		1	3	5
タイムカードを利用している	1	2	1	6	10
タイムカード以外の自動管理システムを利用している	1	3	1	1	6
健康診断や健康調査において把握している	2				2
その他の方法で把握している	1		1		2
わからない			2	2	4
把握している者の合計	14	8	10	10	42

表 19 裁量労働制労働者の労働時間の把握状況 (%)

裁量労働者の労働時間の把握	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
裁量労働制の労働者はいない	57.1	48.9	37.7	45.3	45.9
裁量労働者がいるかどうか不明	0.0	17.0	15.9	28.1	16.0
裁量労働者はいるが把握していない	4.1	8.5	11.6	3.1	7.4
裁量労働者はいるが把握は不明	8.2	6.4	13.0	6.3	8.7
裁量労働者の労働時間を把握*	28.6	17.0	14.5	15.6	18.2
無回答	2.0	2.1	7.2	1.6	3.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
*把握している方法					
本人に申告させている	78.6	25.0	70.0	20.0	52.4
上司に報告させている	7.1	0.0	10.0	30.0	11.9
タイムカードを利用している	7.1	25.0	10.0	60.0	23.8
タイムカード以外の自動管理システムを利用している	7.1	37.5	10.0	10.0	14.3
健康診断や健康調査において把握している	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8
その他の方法で把握している	7.1	0.0	10.0	0.0	4.8
わからない	0.0	0.0	20.0	20.0	9.5
把握している者の合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

10) 一般職、管理職、裁量労働制労働者が全労働者に占める割合

一般職が全労働者に占める割合は、回答全体で90%以上が約4割、70%以上が約3/4であり、中央値は80%であったが、10%未満という事業場も約1割存在した。50%未満の事業場は「専門専属」では約1割にとどまり、全体と比べて割合が少なくなった。

管理職が全労働者に占める割合は、回答全体で20%未満が約2/3で、中央値は10%であったが、80%以上というところが4事業場存在した。「専門非専属」では20%以上が過半数であったが、「非専門非専属」では20%未満が8割以上であった。

裁量労働者が全労働者に占める割合は、回答全体で10%未満が約8で、中央値は0%であったが、50%以上というところが2事業場存在した。医学専門分野と契約形態による明らかな特徴はなかった。

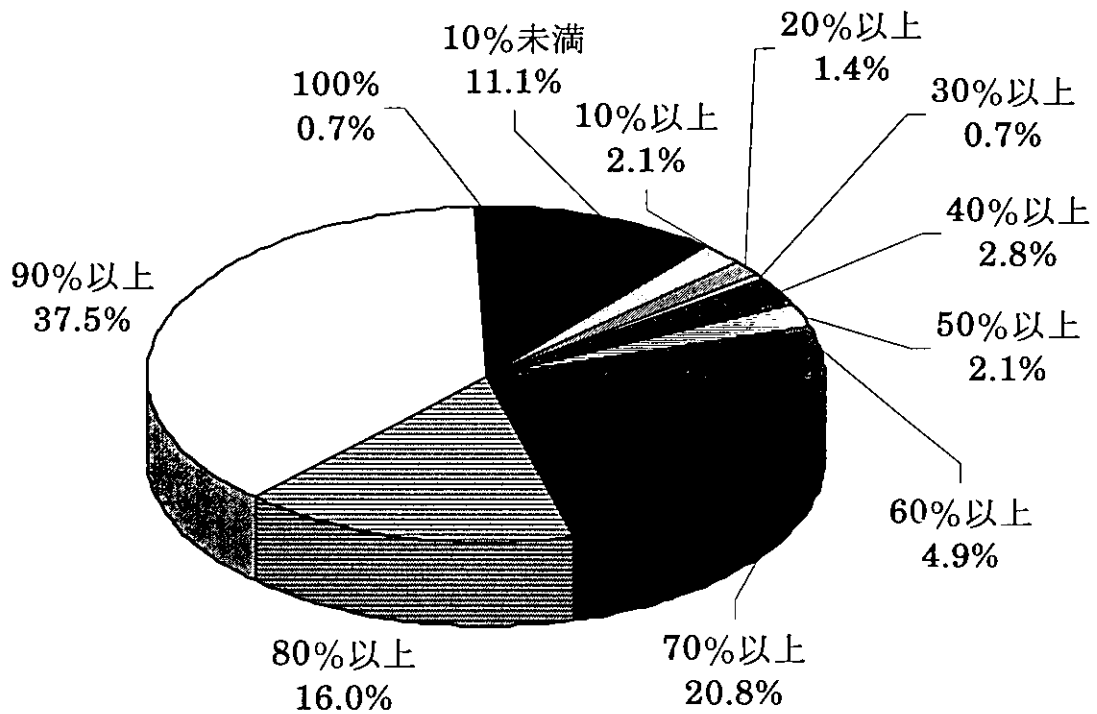


図12 事業場に一般職が占める割合

表 20 事業場に一般職が占める割合

一般職の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
10%未満	1	3	7	5	16
10%以上		3			3
20%以上	2				2
30%以上		1			1
40%以上	1		2	1	4
50%以上			1	1	3 #
60%以上	2	2	3		7
70%以上	11	5	10	4	30
80%以上	6	3	6	8	23
90%以上	15	9	13	17	54
100%			1		1
回答あり	38	26	43	36	144 #
無回答	11	21	26	28	87 #
合 計	49	47	69	64	231 #

表 21 事業場に一般職が占める割合 (%)

一般職の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
10%未満	2.6	11.5	16.3	13.9	11.1
10%以上	0.0	11.5	0.0	0.0	2.1
20%以上	5.3	0.0	0.0	0.0	1.4
30%以上	0.0	3.8	0.0	0.0	0.7
40%以上	2.6	0.0	4.7	2.8	2.8
50%以上	0.0	0.0	2.3	2.8	2.1
60%以上	5.3	7.7	7.0	0.0	4.9
70%以上	28.9	19.2	23.3	11.1	20.8
80%以上	15.8	11.5	14.0	22.2	16.0
90%以上	39.5	34.6	30.2	47.2	37.5
100%	0.0	0.0	2.3	0.0	0.7
回答あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
無回答	22.4	44.7	37.7	43.8	37.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表 22 事業場に一般職が占める割合

一般職の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
平均 (%)	76	63	66	73	70
標準偏差 (%)	22	34	32	31	30
最大値 (%)	100	98	100	98	100
最小値 (%)	0	3	2	0	0
中央値 (%)	80	75	75	87	80

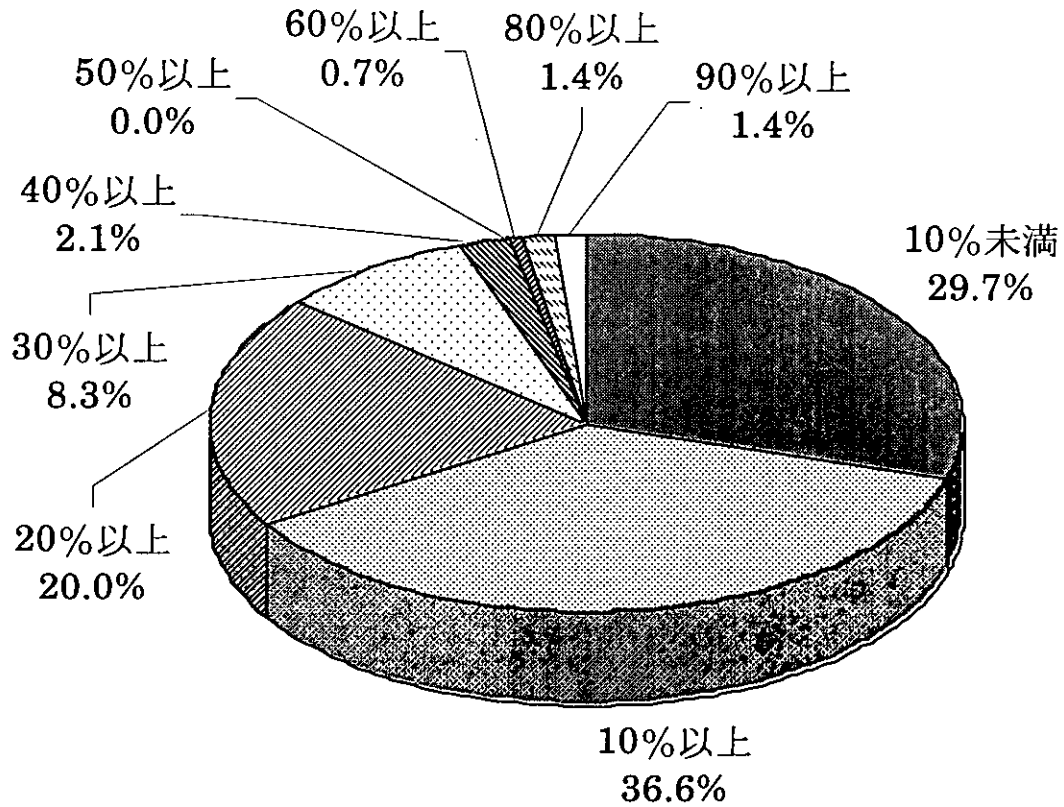


図 13 事業場に管理職が占める割合

表 23 事業場に管理職が占める割合

管理職の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
10%未満	8	7	13	14	43 #
10%以上	14	5	16	18	53
20%以上	9	7	9	4	29
30%以上	4	4	2	2	12
40%以上			2	1	3
50%以上					0
60%以上	1				1
70%以上					0
80%以上	1	1			2
90%以上		1	1		2
100%					0
回答あり	37	25	43	39	145 #
無回答	12	22	26	25	86 #
合 計	49	47	69	64	231 #

表 24 事業場に管理職が占める割合 (%)

管理職の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
10%未満	21.6	28.0	30.2	35.9	29.7
10%以上	37.8	20.0	37.2	46.2	36.6
20%以上	24.3	28.0	20.9	10.3	20.0
30%以上	10.8	16.0	4.7	5.1	8.3
40%以上	0.0	0.0	4.7	2.6	2.1
50%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60%以上	2.7	0.0	0.0	0.0	0.7
70%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80%以上	2.7	4.0	0.0	0.0	1.4
90%以上	0.0	4.0	2.3	0.0	1.4
100%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
無回答	24.5	46.8	37.7	39.1	37.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表 25 事業場に管理職が占める割合

管理職の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
平均(%)	18	22	16	11	16
標準偏差(%)	15	23	16	9	16
最大値(%)	80	95	97	46	97
最小値(%)	0	2	2	0	0
中央値(%)	12	20	10	10	10

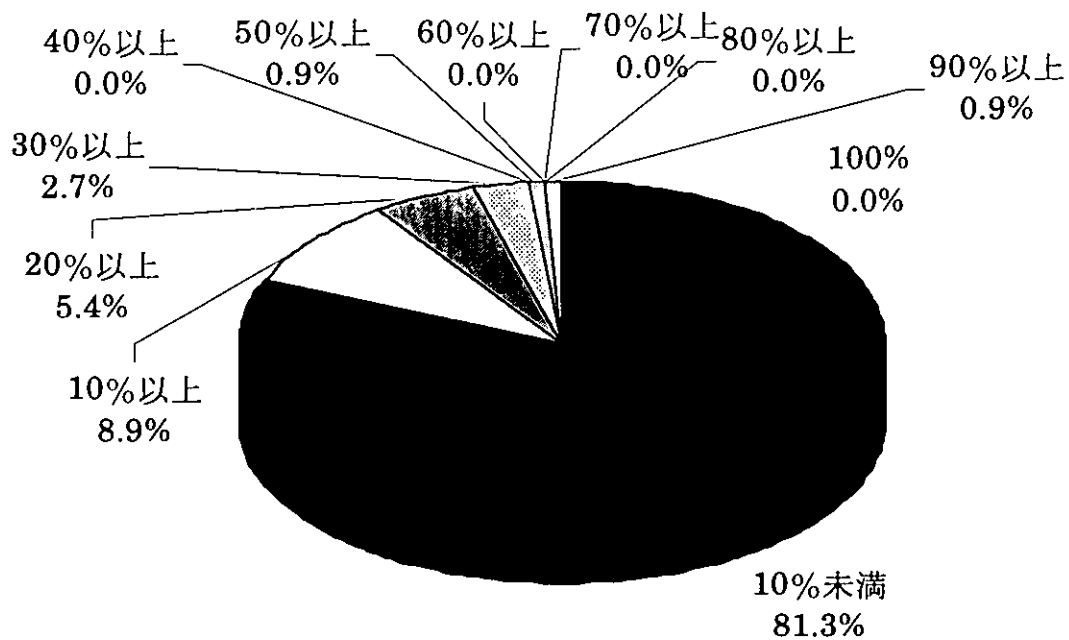


図 14 事業場に裁量労働制労働者が占める割合

表 26 事業場に裁量労働制労働者が占める割合

裁量労働性労働者の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
10%未満	26	20	22	23	91
10%以上	2		4	4	10
20%以上	1	1	3	1	6
30%以上	2			1	3
40%以上					0
50%以上		1			1
60%以上					0
70%以上					0
80%以上					0
90%以上				1	1
100%					0
回答あり	31	22	29	30	112
無回答	18	25	40	34	119 #
合 計	49	47	69	64	231 #

表 27 事業場に裁量労働制労働者が占める割合 (%)

裁量労働性労働者の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
10%未満	83.9	90.9	75.9	76.7	81.3
10%以上	6.5	0.0	13.8	13.3	8.9
20%以上	3.2	4.5	10.3	3.3	5.4
30%以上	6.5	0.0	0.0	3.3	2.7
40%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50%以上	0.0	4.5	0.0	0.0	0.9
60%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
90%以上	0.0	0.0	0.0	3.3	0.9
100%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
無回答	36.7	53.2	58.0	53.1	51.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表 28 事業場に裁量労働制労働者が占める割合

裁量労働性労働者の割合	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
平均(%)	5	4	5	6	5
標準偏差(%)	9	11	7	17	12
最大値(%)	35	50	25	90	90
最小値(%)	0	0	0	0	0
中央値(%)	0	0	1	0	0

11) 労働者の時間外労働時間

時間外労働時間をしている労働者は、回答全体で、月 45 時間を超える者がいるところが約 7 割、2～6 ヶ月平均で月 80 時間を超える者がいるところが約 5 割、月 100 時間を超える労働者がいるところが約 1/3 であった。「専門専属」では、いずれの割合も全体と比べて大きくなった。「非専門専属」と「非専門非専属」では、2～6 ヶ月平均で月 80 時間を超える者がいるところも月 100 時間を超える労働者がいるところが 1/3 未満と少なく、いずれもについて不明であるところが 1/4 以上と多かった。

表 29 時間外労働をしている労働者の存在

時間外労働のある労働者	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
残業時間が月45時間を超える労働者がいますか					
いる	47	34	41	39	161
いない	1	7	13	15	36
不明	1	6	15	10	34 #
残業時間が2～6ヶ月平均で月80時間を超える労働者がいますか					
いる	39	28	22	19	108
いない	8	11	25	27	71
不明	2	8	22	18	52 #
残業時間が月100時間を超える労働者がいますか					
いる	34	18	17	12	81
いない	12	20	26	36	94
不明	3	9	26	16	56 #
合 計	49	47	69	64	231 #

表 30 時間外労働をしている労働者の存在 (%)

時間外労働のある労働者	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
残業時間が月45時間を超える労働者がいますか					
いる	95.9	72.3	59.4	60.9	69.7
いない	2.0	14.9	18.8	23.4	15.6
不明	2.0	12.8	21.7	15.6	14.7
残業時間が2～6ヶ月平均で月80時間を超える労働者がいますか					
いる	79.6	59.6	31.9	29.7	46.8
いない	16.3	23.4	36.2	42.2	30.7
不明	4.1	17.0	31.9	28.1	22.5
残業時間が月100時間を超える労働者がいますか					
いる	69.4	38.3	24.6	18.8	35.1
いない	24.5	42.6	37.7	56.3	40.7
不明	6.1	19.1	37.7	25.0	24.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

12) 人事・労務部門が時間外労働時間を把握している範囲

人事・労務部門が時間外労働時間を把握している対象の範囲は、回答全体で、裁量労働者を含めた全労働者というところが約 1/4、少なくとも管理職と一般職の範囲というところが 39～52%であった。「専門専属」と「専門非専属」は一般職の労働者のみというところの割合が 45～49%で全体と比べて大きかった。「非専門専属」と「非専門非専属」ではわからないと無回答というところの割合が 20～25%と大きかった。

表 31 時間外労働を把握している対象の範囲

時間外労働時間の把握対象	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
裁量労働者を含めた事業場内全労働者	13	12	13	15	53
管理職と一般職のみ	8	7	14	18	47
一般職の労働者のみ	24	21	23	15	83
把握していない	2	1	5		8
わからない	1	4	12	13	31 #
無回答	1	2	2	3	9 #
合 計	49	47	69	64	231 #

表 32 時間外労働を把握している対象の範囲 (%)

時間外労働時間の把握対象	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
裁量労働者を含めた事業場内全労働者	26.5	25.5	18.8	23.4	22.9
管理職と一般職のみ	16.3	14.9	20.3	28.1	20.3
一般職の労働者のみ	49.0	44.7	33.3	23.4	35.9
把握していない	4.1	2.1	7.2	0.0	3.5
わからない	2.0	8.5	17.4	20.3	13.4
無回答	2.0	4.3	2.9	4.7	3.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

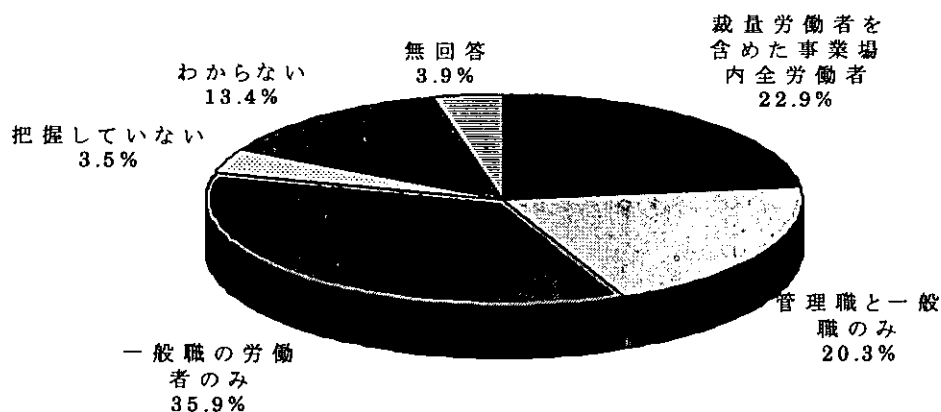


図 15 時間外労働を把握している対象の範囲

2. 「過重労働による健康障害防止のための総合対策（平 14.2.12）」に関する調査

1) 産業医の総合対策の認知

「過重労働による健康障害防止のための総合対策（平 14.2.12）」（以下、総合対策）の産業医による認知について、「内容まで良く理解している」としたのが約 7 割で、「読んだことはないが見たことはある」を加えると 85.4%に達した。

「存在を知らなかった」は 4 事業場のみであった。「内容まで良く理解している」とした割合は、「専門専属」が 9 割を超え、「専門非専属」が約 8 割、「非専門専属」と「非専門非専属」は 50%台であった。「読んだことはないが見たことはある」を加えた割合は、「専門専属」と「専門非専属」が 9 割を超え、「非専門専属」と「非専門非専属」は 8 割未満であった。

表 33 回答者の総合対策の認知

産業医の総合対策の認知	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
内容までよく理解している	46	36	40	34	156
内容は理解していないが一読したことがある	3	6	12	16	37
読んだことはないが見たことはある		1	7	5	14 #
見たことはないが存在は承知している		3	6	6	15
存在を知らなかった			2	2	4
回答あり	49	46	67	63	226 #
無回答	0	1	2	1	5 #
合 計	49	47	69	64	231 #

表 34 回答者の総合対策の認知 (%)

産業医の総合対策の認知	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
内容までよく理解している	93.9	78.3	59.7	54.0	69.0
内容は理解していないが一読したことがある	6.1	13.0	17.9	25.4	16.4
読んだことはないが見たことはある	0.0	2.2	10.4	7.9	6.2
見たことはないが存在は承知している	0.0	6.5	9.0	9.5	6.6
存在を知らなかった	0.0	0.0	3.0	3.2	1.8
回答あり	100.0 (100.0)	100.0 (97.9)	100.0 (97.1)	100.0 (98.4)	100.0 (97.8)
無回答	(0.0)	(2.1)	(2.9)	(1.6)	(2.2)
合 計	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

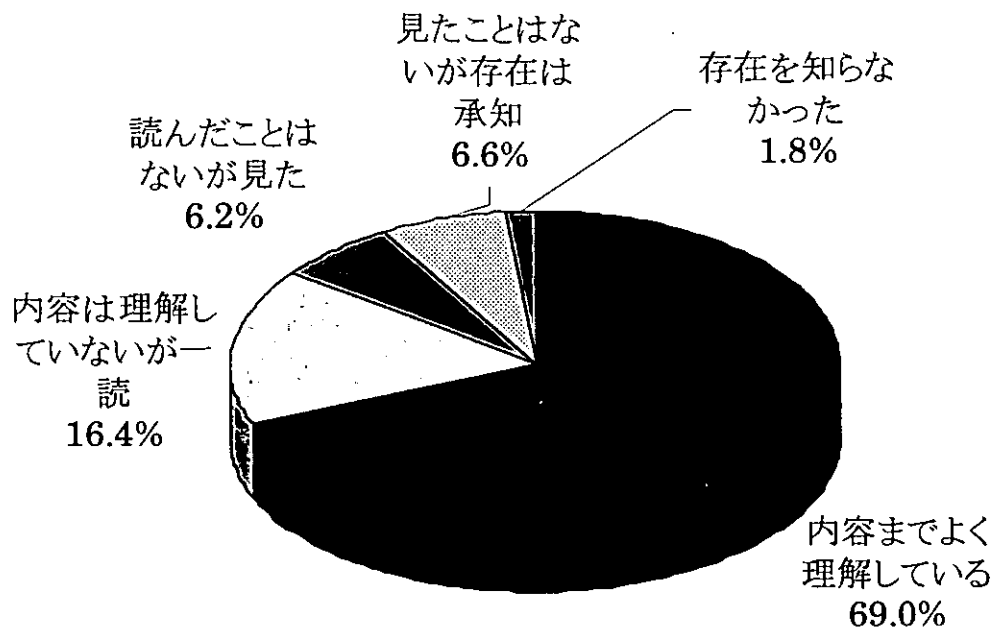


図 16 回答者の総合対策の認知

2) 人事部門の総合対策の認知

総合対策の人事部門による認知について、「内容まで良く理解している」が5割強で、「読んだことはないが見たことはある」を加えると72.3%に達した。「存在を知らなかった」は5事業場のみであった。「内容まで良く理解している」とした割合は、「専門専属」が3/4を超え、「専門非専属」が6割、「非専門専属」が50%台、「非専門非専属」が30%台であった。「読んだことはないが見たことはある」を加えた割合は、「専門専属」が9割を超え、「専門非専属」と「非専門専属」は約7割、と「非専門非専属」は6割未満であった。

表 35 人事部門の総合対策の認知

人事部門の総合対策の認知	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
内容までよく理解している	37	27	34	24	122
内容は理解していないが一読したことがある	7	6	12	12	37
読んだことはないが見たことはある	1	2	2	4	9
見たことはないが存在は承知している		4	2	4	10
存在を知らなかった			3	2	5
知っているかどうかわからない	3	6	12	16	37
回答あり	48	45	65	62	220
無回答	1	2	4	2	11 #
合 計	49	47	69	64	231 #

表 36 人事部門の総合対策の認知 (%)

人事部門の総合対策の認知	産業医学専門/非専門・専属/非専属				合 計
	専門 専属	専門 非専属	非専門 専属	非専門 非専属	
内容までよく理解している	77.1	60.0	52.3	38.7	55.5
内容は理解していないが一読したことがある	14.6	13.3	18.5	19.4	16.8
読んだことはないが見たことはある	2.1	4.4	3.1	6.5	4.1
見たことはないが存在は承知している	0.0	8.9	3.1	6.5	4.5
存在を知らなかった	0.0	0.0	4.6	3.2	2.3
知っているかどうかわからない	6.3	13.3	18.5	25.8	16.8
回答あり	100.0 (98.0)	100.0 (95.7)	100.0 (94.2)	100.0 (96.9)	100.0 (95.2)
無回答	(2.0)	(4.3)	(5.8)	(3.1)	(4.8)
合 計	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)